

HYDROGEN GAS EVOLUTION IN MUNICIPAL SOLID WASTE INCINERATION(NSWI) BOTTOM ASH RESIDUES

ニティヤ, アルムガム

<https://doi.org/10.15017/1654855>

出版情報：九州大学, 2015, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：全文ファイル公表済

氏名	Nithiya Arumugam
論文名	HYDROGEN GAS EVOLUTION IN MUNICIPAL SOLID WASTE INCINERATION(MSWI) BOTTOM ASH RESIDUES
論文調査委員	主査 九州大学 教授 島岡 隆行 副査 九州大学 教授 久場 隆広 副査 九州大学 教授 渡邊 公一郎

論文審査の結果の要旨

本論文は、一般廃棄物焼却灰からの水素ガス回収を目的とし、焼却灰の冷却方式が異なる空冷と水冷の一般廃棄物焼却灰を対象に物理化学的性状の調査、水素ガス発生量が最大となる条件の探索、水素ガス発生量増進のための焼却灰の粒度調整や金属アルミニウム屑の添加等の効果について検討したものである。

これらの研究成果は、独自の視点から、一般廃棄物焼却灰からの水素ガス回収について研究したものであり、廃棄物資源循環工学において重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。